

方形斑の一行が欠損したマダライモ（軟体動物、イモガイ科）
LACK OF ONE ROW OF SPIRAL BLACK RECTANGULAR BLOTCHES IN
***Conus (Virroconus) ebraeus* LINNAEUS, 1758**

By

平澤康太¹・山守瑠奈²・久保田 信^{3*}
Kouta HIRASAWA¹, Luna YAMAMORI² and Shin KUBOTA^{3*}

概要

Abstract

Conus (Virroconus) ebraeus, of which one row of spiral black rectangular blotches was absent, was collected at the “Kitahama beach” in Shirahama, Wakayama, Japan as a very rare case.

はじめに

Introduction

マダライモ *Conus (Virroconus) ebraeus* Linnaeus, 1758 は伊豆諸島以南のインド - 西太平洋の潮間帯から水深 20 m のサンゴ礁や岩礁に生息する(堀 2000)。マダライモには、体層側面を巡る数列の黒色の方形斑がつくられているが、今回、その斑の中央の一行が全て欠損している個体が発見されたので稀少例として記録する。

結果と考察

Results and Discussion

たいへん変わった模様の 1 個体は和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”に 2014 年 1 月 18 日に打ち上げられていた。殻長 26 mm で、殻頂部付近の模様の欠損はなかった(図版 1A)。発見場所やその付近では、本種の貝殻の打ち上げが多数見られるが(久保田・小山 2002)、今回のような模様の個体は久保田の過去 20 年余りの現場付近での収集でも発見されることがない。また日本の他の場所や、諸外国で

-
1. 京都大学大学院医学研究科 〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町
Graduate School of Medicine, Kyoto University, Yoshida-Konoe-cho, Sakyo-ku, Kyoto, 606-8501 Japan
 2. 京都大学農学部 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
Faculty of Agriculture, Kyoto University, Kitashirakawa Oiwake-cho, Sakyo-ku, Kyoto, 606-8502 Japan
 3. 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町459
Seto Marine Biological Laboratory, Field Science Education and Research Center, Kyoto University, 459 Shirahama, Nishimuro, Wakayama, 649-2211 Japan * e-mail: kubota.shin.5e@kyoto-u.ac.jp

も筆者らの収集中には見られず、今回の模様を示す個体はたいへん稀少なものであろう。

引用文献

References

- 久保田 信・小山安生. 2002. 番所崎, 特に"北浜" (和歌山県白浜町)へ打ち上げられた軟体動物貝殻目録(1). 南紀生物, 44(2) : 69-76.
- 堀 成夫. 2000. イモガイ科. 奥谷喬司(編著) 日本近海産貝類図鑑, pp. 587-619. 東海大学出版会, 東京.

図版 1 の説明

Explanation of plate 1

図 A. 三方向から撮影した方形斑の中央一行が全て貝殻から欠損したマダライモ

Figure A. *Conus (Virroconus) ebraeus* of which one row of spiral black rectangular blotches was absent in shell showed in three directions.

